

今までの国際地学オリンピックと今後の計画

The report of the International Earth Science Olympiad (IESO), past and future.

瀧上 豊^{1*}, 久田 健一郎²

TAKIGAMI, Yutaka^{1*}, HISADA, Ken-ichiro²

¹ 関東学園大学, ² 筑波大学生命環境科学研究科

¹Kanto Gakuen University, ²Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba

昨年までの国際地学オリンピックに関する活動と2012年度からの5か年計画を報告します。

1) 第1回 韓国大会 7か国 24名参加 日本はオブザーバー参加

第2回 フィリピン大会 6か国 24名参加 銀3、銅1

第3回 台湾大会 14か国 50名参加 銀4

第4回 インドネシア大会 17か国 63名参加 金1、銀3

2) 第5回 イタリア大会 26か国 104名参加

・募集 2010年9月1日 11月30日

・第3回日本地学オリンピック大会予選(国際大会一次選考)

2010年12月19日 869名申し込み 777名受験(会場50会場)

・本選(「第2回グランプリ地球にわくわく」)(国際大会最終選考)・表彰式

2011年3月24日から26日 につくばで開催予定であったが、東日本大震災のため中止。

・本選は2011年6月11日から12日に東京大学で開催。

最優秀賞(国際大会派遣生徒)4名(高校3年2名、2年1名、1年1名)

・通信研修 5月 8月

・合宿研修 8月16日 19日 清里高原および箱根(生命の星・地球博物館)

・国際大会 9月5日 - 14日 イタリア(モデナ) 1名金メダル、2名銀メダル、1名銅メダル

・文部科学省 表敬訪問 9月15日

3) 第6回 アルゼンチン大会(2012日本大会は返上)

・募集 2011年9月1日 11月15日

・第4回日本地学オリンピック大会予選(国際大会一次選考)

2011年12月18日 924名申し込み 791名受験 (52会場)

・本選(「グランプリ地球にわくわく」)(国際大会最終選考)・表彰式

・2012年3月25日から27日 30名参加

会場:筑波大学、産業技術総合研究所、気象研究所環境研究所、防災科学技術研究所、環境研究所、エキスポセンター

・通信研修(5 - 8月)

・合宿研修 6月2日 3日 つくば(1泊2日)、8月中旬(清里・箱根3泊4日)

・国際大会 10月8日 18日 アルゼンチン(ブエノスアイレス)

4) 今後の計画

・2012年度 アルゼンチン大会のほかに、小中学生自由研究コンテスト開始

・2013年度 インド大会 募集 2011年9月1日 11月15日

OB会の設立、過去問題集の製作、一次試験の一部に初級問題導入

・2014年度 アメリカ大会

地学オリンピック完全ガイドの製作、ジュニアセミナーの開始

・2015年度 ロシア大会

日本大会特別後方

・2016年度 日本大会開催(?) 40か国参加見込み

キーワード: 国際地学オリンピック, 日本地学オリンピック, 地学オリンピック

Keywords: IESO, International Earth Science Olympiad